

寺報 善巧

発行
〒938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山497
白雪山善巧寺
☎宇奈月 0765(65)0055

賀正 法輪寺 善巧寺 照行寺

寺
ごよみ

一月

一日 修正会 年頭参り
三日 日曜学校カルタ会
五日 善巧寺花の会新年会
七日 栗虫・報恩講
八日 浦山お経会新年会
一〇日 夢を語る会新年会
一二日 雪ん子劇団初げいこ
御正忌もちつき

御正忌報恩講

一三日 昼一時 速夜
一四日 昼一時 速夜
一五日 朝十一時 お講
昼一時 速夜
夜七時半 初夜
一六日 朝十一時 お講
昼一時 お満座
説教 当山若院

◆親鸞聖人のお祥月法要です。
つとめてお参り下さいませ。



未来にはばたく雪ん子のこどもたち

お目出度うございます。皆さま
健康やかに春を迎えられたことと思
います。昨年一月、此の寺報に年
頭所感を述べたのがほんの此の間
と思つたのに、もう一年経過しま
した。光陰矢の如しと古人の言つ
た通りです。

さて、私事ながら私も今年七十
六才になります。よくこれだけ生
きて来たというのが実感です。生
まれつき病弱だった私

が、七十六迄いのちが
あるとは思つても見な
いことでした。私達の
生きて来た時代は、今
日から見ると大変な時
代でした。乳幼児期に
は、肺炎やえきり、ち
ぶす、等々の伝染病で沢
山の乳幼児が亡くなり
ました。青年期には、
肺結核という不治の病
で倒れる人が後を絶ち
ませんでした。私も、
肺門淋巴腺浸潤で半年
間静養したことがあり
ます。それから御承知の戦争です。
赤紙召集で朝鮮平壤四十四部隊に
廻された私が三ヶ月の訓練の後、
内地送還になれたのも、紙一重の
ところでした。戦死者の仲間に入
らなかつた私も、戦後の食糧不足
の時代には、栄養失調寸前の状態
でした。考えて見ると、生き残り
というに相応しい私です。今日あ

迎 春

るのは文字通り「お蔭様で」とい
うより他はありません。

その様な私の机上に、親鸞さま
の御像が置いてあります。富山本
願寺から頂いた複製銅版の「鏡御
影」です。御承知のように、鏡御
影といわれている御像は、西本願
寺蔵の国宝で、私は、昭和五十五
年四月、京都博物館で開かれた「西
本願寺の秘宝展」で原物を拝観さ
せて頂いたことがあります。

筆者は藤原信実の子専阿弥
陀仏という人です。その画
風は、いかにも似顔絵の作
品らしく、親鸞聖人を見な
がら細い淡墨線を重ねて描
きあげた様子がしのばれ、
聖人の崇高な個性までみこ
とに写しとって居ります。
聖人七十五、六才のもので
はないかと言われて居りま
す。聖人七十六才の年は、
宝治二年、後深草天皇の治
世で、前年、鎌倉の将軍北
条時頼が道元と会っていま
す。そして此の年、一月二

十一日「浄土和讃」「高僧和讃」を草
す」との記述が残っています。鏡御
影の聖人には、老の衰えは微塵も
見られず「自信教人信難中転更難」
の御言葉通りの力強さです。

私も、聖人の力強さに励まされ、
皆様と御一緒に、新年の第一歩を
踏み出す覚悟です。

住職 雪山 俊之



空華忌記念講演

①

行信教教授

利井明弘師



このたびは、僧鎔和上のお祥月法要、空華忌ということでございまして、大阪は高槻から寄せていただきました。若院の兄でございます。

僧鎔和上がおられて、その僧鎔和上のお弟子さんに柔遠という方がおられて、その柔遠和上のまたお弟子さんに、行照というお弟子さんがおられて、その行照和上の弟子というのが、私の曾々父、鮮

妙とその兄明朗なんです。

ということは師資相承と申しますか、あの僧鎔和上のひ孫弟子のひ孫がいまここで話をしておるわけでございます。

で、その間に、二百四年という年月が経っているのですけれど、そんなに遠いこととは思えません。と申します

のも、この僧鎔和上の百回忌に、ひ孫弟子の明朗がこへ来たという記録が残っております。その時、明朗は五十歳ぐらいだったでしょう。私もいま五十歳であります。

そして百五十回忌には、お呼びではなかったのですが、私のじいの興隆が「たのも」といってはいってきて、この本堂でお焼香をして、涙を流しながらお話をしたということが、こちらの記録に

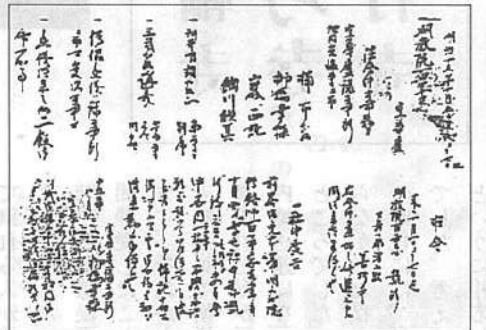
残っておるそうです。これまた、ありがたいことであります。

そしてさらに、そのじいさんの息子である私の父、興弘と私とが二百回忌のご縁にあわせていた

いた。あの時ね、父と一緒に汽車で帰ったんですがね、私はこういしました。

「お父さん、お浄土へ行ったら、おみやげ話がふえましたなあ。私はひいじいさんは知らないけれども、お浄土で会ったら、行ってきましてよ、私も」と

いえますもんなあ。」
 といって、よろこんで帰ったんで



明教院百回忌の記録

やせ」と、それこそ、近所に僧鎔和上がおられるように話していただきましたので、私はその二百

年という感覚がないんです。富山のお寺で、僧鎔和上というのがおられてその弟子の弟子なんていうからわりと近く思っていたんです。ところが時間いえば二百年。このことを味わってみますと、なんだか、長いような気がしますけれども、また短いような気もし

僧鎔——柔遠——行照——鮮妙・明朗 法は流れる二百年……

興隆——興弘——明弘・隆弘

すけれども、改めてまた、今日のご縁にこうして合わせていただいで、まったく、ありがたいことだと思ふのであります。

そのひ孫弟子から、そのひ孫の私に至るまで「僧鎔和上のみ教えをいたたいおるんやせ。僧鎔和上のおさとしをいたたいおるん

ますね。そして、世の中は変わって、なかなか、仏法のご縁をいただけるような時代ではなくなってお寺に参ることより他にしなくて、はならんことが多くなったこの時代に、やっぱり同じように、みなさんが、こうして本堂におすわりになっておられる。……これはね、

とりもなおさず、僧鎔和上のご勸化のたまものと、よろこばねばなりません。

みなさんはね、おひざ元ですよ。私はひ孫弟子のひ孫で、大阪の、こうして、聞かせていただいております。

そこで、このみ教をこれから百年二百年、もつともつと後の世まで、僧鎔和上のおすめ下さった弥陀のご本願、お念仏のすばらしさを、伝えてゆかねばなりません。

話かわりますが、私このごろ、六十五年に開かれる、花と緑の万国博の委員をしているんですが、そこで、いろんなことをいろんな偉い人から聞かせてもらっているんです。そしたらね、広島大学の宇宙工学の先生がね、こんなことをおっしゃるんです。

百年たったら、人間は全部とはいわないが、宇宙で暮さなくてはならないようになるそうです。百年ですよ。そのころ

明教院釋僧錄廣叟法師
百五十四忌法要記錄

有銀數百兩送還。追賊至其
大處。我前哨兵數人。乘
時渡河。與之相射。射
三回。二回。我前哨兵數人。乘
時渡河。與之相射。射
三回。二回。我前哨兵數人。乘
時渡河。與之相射。射

明教院百五十回忌法要記錄

なんか茶筒のようなものでね。その直径が三〇キロ米もあるそうです。それをどんどん打ち上げて、そこで生活ができるようにするんだそうです。そこへ、もう、百年もしたらみんな行かねばならない時代に來ているそうなんです。

でね、この話を、うち門徒さんにしたんです。そしたらね、大阪の年寄り腹ワタがくさっとるね。

「ああ、それは関係ないわ。百年先なんてわしや生きとらんから関係ない」

ちよつと、あなた、子や孫のことは関係ないんですか。

みなさん、僧侶和上から、その弟子へ、孫弟子へ、ひ孫弟子へ……

そのひ孫弟子の息子、孫、ひ孫とすうっと同じことを聞いておる、これで二百年ですよ。

それを、わし死んだら、あとともう関係ないわなんていつたら、全部、ブツンと切れてしまいます。いまや、生きる中心は一体、何になっているのか——ここにお参りになっているみなさんはその時代にお浄土に生まれて、それこそ会ったこともないひいじいさんともう一ぺん話してみたいなあというような世界をお持ちになっていると思うんです。それが僧鎔和上のすすめられたお念仏の道なんです。お念仏をいただいて、ともにお浄土で会いましょうね。とい

う話なんですよ。そしてそれをみなさんがよろこばれたら、それはまた代々代々伝わってゆくものなんですよ。

それを、百年後のことはわしに関係ない、というんなら、もう、子や孫のことを思っておらん、なんとさびしい、なんと自分勝手なことでありましょう。

僧鎔和上は自分だけのことを思っておられたんだろうか：そうじゃないと思いますよ。和上は天明三年に死んでおられる。この天明二年から八年に至るまでは、日本中が大飢きんでした。その飢きんのはじまったのが二年で、その次のなくなられた年が一番ひどかつ

た時です。

ある地方では、四万八千人の住民のうち四千四百人が死に、千八百人が行くえ不明。そして人肉をも食ったという記録が残っています。

僧鎔和上は徳の高いお方だからみんな少しでも長生きしてもらおうと思つてなんとかしたかもわからない。そんな中でね、僧鎔和上は、ふるい立つて、この天明三年の三月から、お正信偈のお話をされるんですが、その中に近頃病気がちで困るといつておられる。六十一歳、もつと、豊かな時代なら長生きされたのになあと思つたことです。

さて、時間がありませんからこ

十二月十六日 火曜日 曇

四時に目が覚める。周囲は闇。例によって眠れない。覚悟を決めて蒲団の中で夜明けを待つ。先日の京都南座での俳句を考える。頭の中だけで句をあこれこれと捻り廻すのも楽しいもの。顔見世の句はどうしても月並みに墮し易い。

七時起床。昨年の手帖には、「十二月十五日、終日雪。」「十六日、積雪一メートル。」「十七日、大雪警報。」と書かれている。

今年は今のところ積雪ゼロ。箒を持って庭掃除が出来る。山茶花が咲き続けているし、ハツ手が白い花をもたげている。嬉しいことに、佗助が十幾つも蕾を持っている。

る。しゃがみ込んで見ると、此の六月大量に植えたえびねも、ひとつひとつ新しい芽を持っている。昨夜死去案内あり。仏は下村の篤農家。十八日十一時、寺で葬式を営むことになり、打合せの方が見える。

今日は、本年最後のお講。一番乗りは門前に住む自称「声の大きいおばあちゃん。」と言っても、大正三年生れである。お

講当番は蒲山。十八戸。
早速、銀杏樹の下を文字通り塵一
つ残さぬ掃き掃除だ。
しばらく書齋にこもる。曇天な
がら時々薄日が洩れる。ドアをノ



住職日記

る。音沢の山から採る。自然生えの山葵わさびを
る。手にとつて顔
を寄せると黒部奥
山の精気が伝わつ
て来るようだ。

十時。台所では料理係りが大忙しだ。今日の献立。豆腐の味噌汁。五目飯。煮物。酢の物。材料は大根、

人參、牛蒡、里芋、油揚げなどが
酢の物の大根、人參の上に乾ふど
うが載っていたり、味噌汁にしめ
じを入れたり、味噌汁にも工夫が

こらされている。

お講のおつとめ。小経一卷。終わって説教。「御念力ひとつ」。蓮如上人御若年のころの話をする。今日は、お参りが何時より多いようだ。午後、若院と照行寺、法輪寺は、魚津へ火事見舞に出掛ける。

「会社員宅全焼。祖母やけど」と新聞に出ている。先代は、善巧寺総代だった人。全門徒でも一番大きい建物で、昔は報恩講廻りのために宿泊したものだ。實際此の世の中、何が起るか分らぬ。

入浴。就床九時。

頼見世や最^{いさ}届^きの招き 見上げたり
投^な光^{くわう}浴^{よく}ぶ 京頼見世の舞妓かな

寺
ごよみ

二月

その僧鑑和上の「正信偈聞書」を
読ませていただくことにいたしま
しょう。

一日　お講・浦山
四日　報恩講・三日市
五日　
六日　
一二日　報恩講・生地、荻生
十三日　

一八日 報恩講・下立
 九日 報恩講・舟見
 二四日 報恩講・入善、泊
 二五日 報恩講・入善、泊

二七日 報恩講・朽屋、熊野

と も し び



小さな心のすゝやかに

赤ちゃんのしつけQ&A

小さいのちがすこやかに育つよう願ってやみません——という
ご門主の「初参式についての消息」が、親鸞聖人のお誕生日に発布
されました。これを「縁に」ともしび」では、「生涯聞法シリーズ」
ともに語ろう。0歳から一〇〇歳までをばじめました。人生それぞ
れの局面における問題を、お念仏にかおる環境の中で話し合ってみ
ようというわけです。



U.S.A. Wayne Miller

雪山 今日ほちよつと趣向を
変えて、小学校へ上がるまで
の子供たちのしつけについて、
ズバリQアンドA式に書いた
本を二、三冊、ナナメに読み
飛ばしてみたいと思います。
篠原 それはいいですね。人
に聞けないわが子の悩み、け
っこうありますものね。
玉池 では、一同沈黙。Qア

Q しつけ方のポイントは何？
A ①くり返し②手本を示し
て③例外をつくらず④ほめて
やる。
Q 人見知りするんですが。
A 乳児期の後半はだれでも
ですから心配なし。気にする
ことはありません。

Q 泣き虫。
A 親に問題。
Q 過保護はダメ。
Q 依頼心が
強い。
A これも過
保護の結果。
急いで方向転
換してもダメ。
Q 甘ったれ。
A 精神的な
離乳時期。
Q 友だちと
遊べない。



Jamaica, British West Indies. George Silk Life

Q かんしゃ
くもち。
A 自立心が芽生えている証
拠。
Q かくしごとをする。
A 子供の要求が阻止されて
いる家庭、不満を満ちしてや
れない家庭に多い。
Q シット心強い。
A 心がいつも緊張してます。
明るく解放的な雰囲気をつく
って下さい。
Q よくケンカをする。
A ケンカは子供の心身の発
達（社会性や人間関係）にブ

Q 残忍性が強い。
A 自分をなにかから守るだ
けで満足せず、弱いものに対
して徹底的に攻撃してしまう。
まあ欲求不満の解消でしょう。
しかしTVの影響もあり、善
悪の判断の基準を身につけさ
せましょう。

Q 内弁けいだが。
A 溺愛型の家庭に多い。同
年輩の友だちが必要。
Q 動物をこ
わがる。
A 四一六才
ごろ恐怖心が
強いので、こ
わがらせない
ように。
Q 泣き虫。
A 親に問題。
Q 過保護はダメ。
Q 依頼心が
強い。
A これも過
保護の結果。
急いで方向転
換してもダメ。
Q 甘ったれ。
A 精神的な
離乳時期。
Q 友だちと
遊べない。

Q 弱い子、遅れている子な
ら、身体づくりと親のリードで。
Q やる気のない子。
A 物があふれすぎ、落着かな
い家庭。しつけが不統一。家
に心配事がある。などが原因。
Q 動作がのろい。
A TVばかり見てないで手
先や身体を使って遊びなさい。
Q いうことをきかない。

Q だだをこ
ねる。
A 甘やかし
すぎ。絶対に
受けつけず、
自分の意志の
通らないこと
を自覚させま
しょう。
Q かんしゃ
くもち。
A 自立心が芽生えている証
拠。
Q かくしごとをする。
A 子供の要求が阻止されて
いる家庭、不満を満ちしてや
れない家庭に多い。
Q シット心強い。
A 心がいつも緊張してます。
明るく解放的な雰囲気をつく
って下さい。
Q よくケンカをする。
A ケンカは子供の心身の発
達（社会性や人間関係）にブ



Cuba. Eve Arnold/ Magnum

と も し び

し っ づ け ？

Q 盗みぐせ

A しつけが甘くても、きびしすぎても起ります。甘すぎる方はほいほいに我慢できずに、きびしい方は親への仕返しの意味もあります。一度成功するとくせになりますから、早期発見して、きちんと善悪の判断をうつけましょう。

Q 怒りっぽい

A 怒りは自分に気に入らないことに対する抵抗の表現です。子供の求めているものを理解し、むりな要求は我慢させましょう。

Q 指しゃぶり

A 欲求不満、愛情が満たされないときに起るといわれます。一、二才なら心配なし。三才すぎてもなら、その原因を考えてみましょう。おどかしても治りにくいものです。

Q 爪かみ

A 指しゃぶりと同じケースですが五—一〇才で出てくることが多いようです。指より神経質で、攻撃的な気持のあらわれと考えられています。不満の原因をしっかりと見極めましょう。

Q 性器をいじる

A 指しゃぶりと同じ一時的な現象です。きたないとかい

けませんとかやかましくいわないように。それよりもつと面白い遊びを考えてやりましょう。

Q 左きき

A 大脳生理

学では左きき、右ききは左右の脳のどちらかが発達しているかによってきまるといっています。できれば両手ききがいいわけで、三—五才あたりで字を書くときやはしをもつときに右手を使うようにすればいいでしょう。でもムリをする必要はありません。

お し っ づ け ！ ？

Q どもる

A 原因はわかりません。しかし親が意識するとどもりになるという人もいます。あせらず、そのうち……と気長に。

Q おもらし

A 親をわざと困らせるため。



U.S.A. Diane and Allan Arbus Vogue

Q 夜尿症

A おねしょの時間をよく調べて、その時間にちゃんと起してさせるのが、一番とか。

Q はしがもてない

A 一才半でコップを持って飲み、スプーンを使って食べられる。二才半になると片手に茶碗、片手にスプーン。三才で握りばしだがはしがもてる。三才半で一人で食べるようになる。五才になるとはしの持ち方も訓練すれば正しくなる。これが標準とか。三才ごろになったら、食前食後のあいさつもキチンと。

◇ 雪山

とまあ、こんなぐあい。こうしたしつけの問題は、

ついつい人にも聞かずに悩んだり、知らないままやり過ぎて問題を大きくしたりと、いろいろでしょう。

萩原 Q アン

ドAも、あく



U.S.A. Martha Kitchen

お念仏のかおる環境の中で

まで目安でしょうから、これにとらわれることはないでしょうけどやはり、ハウツーも大事ですね。

雪山で、最後は仏様がおっしゃる子に対する親の心構え。

①心広く 気前よく
②言葉やさしく
③子のために計り
④共に歩むべし。

この記事は富山別院発行の「ともしび」に連載中のものです。小さいお子さんをお持ちの両親に、是非読ませてあげて下さい。

雪ん子劇団 トリプル受賞!!



表彰状

貴団体は、多年にわたり仏教精神に基づき、青少年の健全育成のために、社会教化事業の推進に努力してこられました。当財団創立25年にあたり、記念品を贈り、その功績をたたえ表彰いたします。

昭和61年11月6日

財団全国青少年教化協議会
山田 恵



表彰状

貴団体は、多年にわたり仏教精神に基づき、青少年の健全育成のために、社会教化事業の推進に努力してこられました。当財団創立25年にあたり、記念品を贈り、その功績をたたえ表彰いたします。

昭和61年11月6日

財団全国青少年教化協議会
山田 恵

誕生以来八年目を迎えた、ことばの教室「雪ん子劇団」は、そのめざましい活躍が、各方面から認められ、この一年でなんと、三つも立派な賞をもらいました。

一つ目は、五月二十九日、黒部地区防犯協会からの表彰で、「防犯思想の普及高揚と各種犯罪の予防等に積極的な活動を推進し、多くの業績をあげられたので、その功績を讃えて……」というもので、こればかり、雪ん子のこどもたちがみんなとつても良い子であるという証明なのであります。

二つ目は、十一月三日、宇奈月町教育委員会から、「五十四年設立以来、活発な活動を通して、地域児童に豊かな感性と表現力を身につけさせ、心が通い合う地域づくりに寄与されると共に、各種大会公演で好成績をあげられるなど児童文化向上に貢献された」ということで、文化功労団体として表彰をうけました。

三つ目は、全国表彰です。十一月六日、故正力松太郎氏が設立された全国青少年教化協議会から、表彰状を戴きました。「貴団体は多年にわたって仏教精神に基づき、青少年の健全育成のため、社会教化事業の推進に努力してこられました。当財団創立二十五年に当り記念品を贈り、その功績をたたえ

表彰いたします」というもので、これは全国の仏教関係各宗派から五十団体が選ばれ、浄土真宗本願寺派では五つの団体の一つに選ばれた栄あるものです。

年末は高岡・滑川で熱演

上演作品をビデオ化

雪ん子はこの一年もとにかくたいへんな売れっ子ぶりで、夏の名古屋、五箇山、砺波公演につづいて、秋には十月に富山で恒例のこどもフェスティバルに出演。

十二月七日には、高岡市民会館



高岡市民会館大ホールで 12月7日

とにか、防犯協会から、教育界から、そして全国の宗教界からと、じつにユニークなトリプル受賞。本当にうれしき限りです。

賀会は、三月二十九日の日曜日に宇奈月町中央公民館で行ないますので、是非みなさんお越し下さいますように……

で、同市内の二千人のスポーツ少年団が集まった「高岡市スポーツ少年団大会」で公演。

つづく十四日の日曜日は滑川市民会館で、市教委主催の「年末こども大会」に出演。千人を超えるこどもたちの前で熱演しました。

この公演は同市の児童文化を支える魚舫文化基金の、魚舫さんという九十四歳になる元気なおじいさんが「ぜい雪ん子を滑川に」と呼んで下さったのが縁で実現したものです。その魚舫さん、最後までちゃんと見て「うん、場面展開が早くて飽きさせない。なかなかいい。よくやった」とほめて下さいました。

なおこの公演では雪ん子の劇のビデオ商品化の話もあり、カメラ三台で収録されました。出来る上のは一月末の予定。

さて公演とは別に、年末にはマスコミの取材もありました。朝日新聞の新年特集企画で雪ん子が登

寺
こよみ

三 月

一日 お講・浦山 三日 報恩講・浦山 一〇日 太子会 聖徳太子の遺徳をしのぶ法要です。とくに建設関係の方はこの日にお集まり下さい。寺の維持管理についてのご意見を聞かせて下さい。今年はずり鐘堂の改修についての話し合いを予定しています。 一六日 お講・板沢 二〇日 総代会 二九日 雪ん子劇団春の公演 三賞受賞記念パーティー	場します。掲載は一月中旬ごろとか。さらに、日本テレビの「タイム21」の取材班の取材が暮の二十一日にあり、この方は、ひよつとしたら、今春の「タイム21」にほんの一角紹介されるかも……というところ。いずれにしても楽しみなことです。
---	--

お寺に「和言車」

お寺に中古のワゴン車がお目見えしました。オレンジ色の八人乗りで、雪ん子劇団の舞台装置の運搬や、家族の移動、門徒さんの送迎に役立っています。

費用はわずか九万円。夢を語る会と夢を育てる会が三万づつ出して下さいました。ありがとうございます。

お寺のワゴン車だから、やさし



いことばのかけ合いを「和言車」と名前をつけました。

秋の総代会開く 10月16日

善巧寺の秋の総代会は十月十六日開かれ、寺の行事や、門徒報恩講などについて実り多い話し合いが行なわれました。

まず寺の年中行事については、伝統ある御正忌報恩講、祠堂経、報恩講の三大法要に加えて、三月の太子会、四月の花の誕生会、六月の特別法座、八月の一泊聞法と盆会、十一月の空華忌などがありますが、三大法要の充実と、新しくはじまった法要や法座の輪をさらに広めるための方策を、時間をかけて考えてゆこうということが確認されました。

これは、恒例の三大法要には、全

善巧寺の常例行事

お	日	雪	夢	花	お
講	曜	ん	の	の	経
学	子	子	の	の	の
校	劇	の	会	会	会
講	団	会	会	会	会
毎月 一日・十六日	毎月 第四日曜日	毎週 月曜四時	毎月 第二土曜日	毎月 第一月曜日	第一・第三土曜日

門徒の過半数がお参りになります。が、空華忌や特別法座、一泊聞法などは五年、十年たってもまだまだ門徒の方々の心にしっかりと伝わっていないところがあるのでは...という意見によって明らかになったもので、今後、寺報や案内などのPRの強化、さらには法要法座全体の企画内容の検討など、積極的に取り組んでゆくことになったものです。

見るお経

「大きな願い」

三月発売

お経をわかりやすく、子や孫にそしてわたしに...と、本願寺で若院が協力して制作をすすめている仏典物語「見るお経」は、昨年の「ウパリーの出家」「マハーカッサパ・お経のはじまり」についていよいよ第三巻が今春発売されます。

今回は私たちのよりどころ「仏説無量寿経」のアニメ化で「大きな願い」というもの。これを見れば、法蔵菩薩とはどんな方か、その菩薩の大きな願いとはどんなものか、そして阿弥陀如来となられたお浄土の世界とは...などがわかりやすく味わえます。念仏の心を子や孫に—ぜひお買い求め下さい。

年末の街頭に日校生

暮の二十日、黒部市内のショッピングセンター、メルシー前で、歳末助け合いの募金運動が行なわれ、うらやま日曜学校の雪ん子たちも参加しました。

富山本願寺が毎年行なっているものでこれまでは富山市内だったので参加がむずかしかったのですが、今回は地元ということで「和言車」いっぱいでした。

合 掌

昨年の寺の重大ニュースを...

- ① 住職入院 九月十六日に胃のポリプ手術。とにかく大きな柱がゆれて大変なことでした。門徒の方々からのお見舞、誠にありがとうございました。おかげでボツボツ回復に向かっております。
- ② 雪ん子劇団トリプル受賞 しくは七頁に。
- ③ 黒部新川橋完成 浦山と浦山新がぐんと近くなりました。「お寺参りが楽になった」と入善の皆さん。渡り初めは浦滝友一さんの三夫婦。
- ④ 緑の木一本運動スタート 人間の尊厳と平和を考えよう。そして地球上の大切な緑を守ろうと、国連難民救済高等弁務官事務所がすすめている「みどり一本」(千五百円)の運動に四月から参加しています。寺の本堂右側のさい銭箱には「世界へ」と書いてあります。心あれば少しでも入れて下さい。
- ⑤ 寺のつつみ東京へ 一昨年からはじめた手作りつつみが東京青山のブティックにも...。etc...

本年も、どうぞよろしく。



一月十三日より十六日まで
御正忌報恩講
布教 当山若院